

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	11	1	基本事務事業名	疾病予防費	事務事業名	人間ドック事業	公的関与	9	シート作成日	令和6年6月5日			
	部局名	市民部		課名	国保医療課	主務課長名	近藤祐司	シート作成者名	藤原洋子					
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(6) 社会保障制度の適正運用			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
	主要施策		(2) 国民健康保険事業の健全化			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		今年度40歳から74歳及び、節目年齢(36,41,46歳)の阿波市国民健康保険被保険者										
		目的(どういふ状態にしたいのか)		最終的	定期的な健康診査及びがん検診を総合的に実施し、早期発見及び早期介入することで被保険者の疾病を予防し、医療費の増加を抑えます。									
			今年度	受診者が増えるように広報活動を実施します。また、健診受診後の保健指導を実施し生活習慣病等の予防に努めます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 広報あわ及び、ケーブルテレビ・阿波市ホームページでお知らせし受診者を募集します。													
	② 人間ドック要綱の要件を満たしているか確認し、該当者には決定通知を送付します。													
	③ 検診日までに問診票、検査器具を送付し、検診後には検査結果をお知らせします。													
	④ 特定保健指導に該当する方は、メタボリックシンドローム等を予防するための保健指導を行います。(その他優先順位をつけて保健指導を行います。)													
⑤ 人間ドック料金を助成します。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	受診者人数		定員に対しての申込者		人	目標	280	280	280	280				
						実績	189							
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	国民健康保険特別会計			款	5	保健事業費	項	1	疾病予防費	目	2	疾病予防費
			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	2,723 千円		2,504 千円		4,670 千円							
	計(A)	2,723 千円		2,504 千円		4,670 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,511 千円	0.250 人	1,515 千円	0.250 人	1,488 千円						
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		4,234 千円		4,019 千円		6,158 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	特定健診やがん検診に加えて詳しい検査を1日のできる機会として必要性があります。現在の健康状態を知り、今後の疾病予防、健康管理に役立ててもらいます。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	人間ドックには特定健診やがん検診が含まれています。忙しい被保険者の方が1日で受けることができる機会として有効です。受診方法や検査内容の違いを知り、選択できるように説明することが必要であり、今後は検診後の保健指導も重要になると考えています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	少しずつではありますが、受診者数が増えています。広報活動に加え、今後は口コミでも人間ドック及び特定健診の受診を勧めて行くことが重要になると考えています。また、同時に検診後の保健指導が重要となります。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない					
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している					
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	健康推進課と連携し、各種検診と同時実施しています。特定健診受診率向上と同時にがん検診の受診率にも寄与していきます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	医療費分析結果により、新生物(がん)や循環器(心筋梗塞など)の医療費は増加し、疾病分類別構成比でも、ともに高い割合を占めることが判明しています。人間ドックを受診すれば、これらの病気も発見することができ、早期治療に繋がります。健康状態把握と、早期発見・早期治療のためにも、毎年人間ドック受診を推奨します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	広報あわ、ケーブルテレビ、ホームページ等での周知を徹底し、申込の増加を図ります。受診希望者に分かりやすい内容となるよう、広報等の内容についても工夫します。					定期的な健康診査は、健康状態の把握や、病気の早期発見と早期治療につながる事業であり、将来の医療費抑制にも寄与します。また、人間ドックを受診すれば、特定健診の受診項目もカバーされます。今後も関係機関と連携し、受診率の向上と、被保険者への十分な周知に努めます。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	2	基本事務事業名	医療費適正化特別対策事業	事務事業名	医療費適正化対策事務	公的関与	1	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	市民部		課名	国保医療課		主務課長名	近藤祐司		シート作成者名	中西政博			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(6) 社会保障制度の適正運用				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(2) 国民健康保険事業の健全化				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市国保被保険者に係る医療費										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	各種医療費に関するデータを基に、阿波市国保被保険者の受診形態や疾病の傾向を把握するとともに、保健指導を実施して医療費の抑制につなげます。										
			今年度	医療費分析結果から、国保だより(高医療費の実態と保健師が選択した健康に関するテーマの記事の特集)を作成します。また、重複受診者への保健指導の強化を図ります。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 年齢階層別の疾病分類リストや重複受診被保険者一覧表など、各種医療費に関するデータの作成を国保連合会に委託します。													
	② 専門業者に委託し、経年で医療費を比較したり、被保険者別、受診形態から見た一人当たり診療費や疾病の傾向について分析します。													
	③ 医療費の分析結果については、電子媒体で経年管理するとともに、分析内容から抜粋して「国保だより」を作成し国保加入世帯に送付します。													
	④ ジェネリック医薬品の利用促進に努めます。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
	医療費分析結果の情報提供		国保だよりの活用度(送付世帯数)	世帯	目標									
					実績	5000	4900							
	ジェネリック医薬品の普及		普及率	%	目標									
					実績	67	67.4							
					目標									
				実績										
DO	予算費目	会 計	国民健康保険特別会計			款	5	保健事業費	項	1	保健事業費	目	4	医療費適正化特別対策事業費
			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金	23	千円	24	千円	30	千円						
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源	3,833	千円	4,538	千円	5,017	千円						
		計(A)	3,856	千円	4,562	千円	5,047	千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,625 千円	0.600 人	3,636 千円	0.600 人	3,572 千円						
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)			7,481 千円	8,198 千円	8,619 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価					
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	医療費を分析することで被保険者の診療形態や疾病の傾向を把握し、広報誌等の媒体を利用した啓発や保健指導に役立て国保財政の健全化を図ります。	○ 少ない	● 大きい						
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	阿波市の医療費の現状を把握することで、啓発や指導内容を具体的に考えることができます。また、国保だよりを通じて、より詳細な情報を提供します。	○ いえない ● いえる	○ 少ない ● 大きい	○ ない ● ある		○ ある ● ない	○ いる ● いない	○ いない ● いえる	○ いえない ● いえる	○ 少ない ● 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ する	● しない					○ 目標に比べて劣っている						○ 目標に比べて劣っている		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ できない	● できる												○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ 概ね達成している	● 十分達成している													
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ 高い	● 適当	医療費分析により、阿波市国保の医療費の状況を的確に把握できます。また、国保だよりは国保加入者全世帯に発送し、掲載内容は毎年の分析結果を考慮して作成しています。	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ できる ● できない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ いえない ● いえる	○ いえない ● いえる	○ 高い ● 適当					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ できる	● できない										○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ ある	● ない												○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ ある	● ない														○ 概ね達成している
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 高い	● 適当	分析結果を国保だよりに掲載するだけでなく、被保険者の健康状態に関する情報提供や保健指導に活用し、医療費の適正化を図ります。	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ できる ● できない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ いえない ● いえる	○ いえない ● いえる	○ 高い ● 適当					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ できる	● できない										○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ ある	● ない												○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ ある	● ない														○ 概ね達成している
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	分析結果を国保だよりに掲載するだけでなく、被保険者の健康状態に関する情報提供や保健指導に活用し、医療費の適正化を図ります。	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ できる ● できない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ いえない ● いえる	○ いえない ● いえる	○ 高い ● 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない										○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない												○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない														○ 概ね達成している
ACTION	評価点	一次評価					二次評価										
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価						
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A						
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等							
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止								
当面の課題	国保だよりを送付し特定健診における受診の必要性や運動による健康管理の啓発を行う。併せて、ジェネリック医薬品の利用促進の周知・啓発も図ります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点											
改革案と実行計画	分析結果による当市の高医療費の実態と保健師が健康に関するテーマを選択・特集した記事の紙面掲載により、被保険者の健康への意識向上を図ります。					「国保だより」は、単に健康情報の提供だけでなく、国民健康保険の諸制度についての被保険者の理解、協力を得る上でも有効な事業と考えられます。限られた紙面の中ではありますが、市の医療費にも大きく影響している糖尿病を始め、生活習慣病抑制についての分析等を適切に周知できるよう、健康推進課や他機関との情報連携に努めます。											
委員会指摘事項																	

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	3	基本事務事業名	特定健康診査等事業	事務事業名	特定健康診査等事業	公的関与	7	シート作成日	令和6年6月6日								
	部局名	市民部		課名	国保医療課		主務課長名	近藤祐司		シート作成者名	坂東めぐみ									
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託									
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等									
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了										
		基本計画(施策)		(6) 社会保障制度の適正運用				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 17 年 ~	令和 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし								
	主要施策		(2) 国民健康保険事業の健全化				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等											
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		40歳から74歳の国保加入者に対し特定健診・特定保健指導を実施します。																
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の生活改善を支援し生活習慣病の発症を防ぎます。また脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎臓病を発症するおそれのある人に保健・栄養指導し重症化を防ぐとともに医療費の高騰を抑えます。															
			今年度	特定健診の目的や意義等を理解していただけるよう周知し、健診受診率を向上させるとともに、特定保健指導並びに重症化予防のための保健指導を充実していきます。																
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																			
	① 特定健診受診券を郵送し、集団検診(土曜日・日曜日の実施、人間ドック、がん検診同時実施)および集合契約による医療機関(個別実施)での健診を実施します。																			
	② 健診受診の必要性・健診データと生活習慣病予防についてポピュレーションアプローチを行います。(広報、国保だより、結果説明会で実施)																			
	③ 未受診者に対しハガキ、電話、訪問にて受診勧奨を行います。																			
	④ 健診受診者のうち保健指導該当者に効果的な保健指導を行い、生活習慣病の発症・重症化予防につながる支援を行います。																			
⑤ 死亡、医療費、介護費などから健康における課題の分析を行い、効率的・効果的な生活習慣病予防対策につなげます。																				
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		最終目標								
	令和4年度受診率		国の参酌基準		%	目標	60		60		40		60							
						実績	37		37.3											
	令和4年度保健指導参加率		国の参酌基準		%	目標	95.3		95.3		90		90							
						実績	80.6		80											
						目標														
					実績															
DO	予算費目	会 計	国民健康保険特別会計				款	5	保健事業費	項	2	特定健康診査等事業費	目	1	特定健康診査等事業費					
			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考											
	直接事業費	国庫支出金			千円		千円		千円		健康推進課と共同で事業を行っている。									
		県支出金	10,600		千円		10,530		千円								10,498		千円	
		地方債			千円		千円		千円								千円		千円	
		その他特定財源			千円		千円		千円								千円		千円	
		一般財源	14,738		千円		14,215		千円								19,551		千円	
	計(A)		25,338		千円		24,745		千円		30,049		千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.490	2,961		千円		0.455	2,757		千円		0.406	2,417		千円				
		会計年度任用職員職種	事務補助員				事務補助員				事務補助員									
会計年度任用職員工数・経費		0.060	113		千円		0.030	59		千円		0.119	288		千円					
全体事業費(A+B)		28,412		千円		27,562		千円		32,754		千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	特定健診・保健指導は、健康寿命の延伸ひいては生活習慣病による医療費の適正化を目的とした施策です。そのためには特定健診受診及び保健・栄養指導が重要です。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	健診により脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎臓病等の重症化予防対象者を明確にし、対象者に保健指導を実施することが、健康寿命の延伸及び医療費適正化に繋がります。保健指導の充実等により、生活習慣病医療費割合は減少しています。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	特定健診受診率は目標値には届いていません。近年受診率は増加していますが、さらなる向上にむけた施策が必要です。特定保健指導実施率は目標値に達していませんが、高率を維持できています。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	脳血管疾患・虚血性心疾患・腎不全は高額な医療費が必要となります。訪問による保健・栄養指導の実施で、生活実態に沿った個性を重視した支援が可能となり、ひいては疾病の予防に繋がっています。保健・栄養指導の充実は医療費適正化において効果的かつ効率的といえます。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	3	4	3	2	B	4	4	4	4	A			
		○ 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等				
	当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率の向上(特に若い年齢層の受診率・継続受診率の向上)</li> <li>・特定保健指導の実施率向上</li> <li>・保健・栄養指導の充実</li> <li>・メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少</li> <li>・医療費、介護費などの社会保障費の抑制</li> </ul>					<p>二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点</p> <p>医療費の抑制にもつながる生活習慣病の重症化予防は、早期に取り組むほどに効果を表し、受診勧奨や保健指導は、健康意識を高めるうえでも重要な事業です。健康推進課、他の保険機関との連携を密にし、受診率向上に向けた啓発に努めます。</p>							
改革案と実行計画	健診を一度も受けたことがない方や、健診中断者に対して受診勧奨を行うと同時に、継続受診を推進し、健診受診者を増やすよう取り組みます。また、保健指導・栄養指導を効果的に実施できるよう、PDCAサイクルに基づき実施・充実していきます。													
委員会指摘事項														